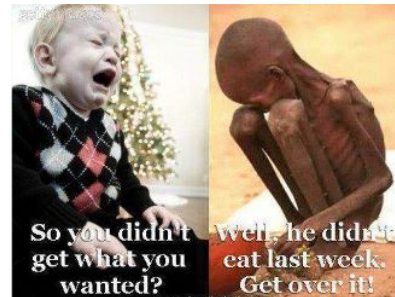


社会福祉の良心③ 現代日本の無縁社会に「良心」は痛んでいるのか

同志社大学
木原活信

格差



これまでの展開

社会福祉実践活動をする際のモチベーション、原動力として働くことがしばしばある。それは、社会問題(通常、これを社会悪)とみなして、それを見て、見ぬふりができないというような状況にあって、それを改善するために立ち上がるような行動様式である。社会福祉実践者(ソーシャルワーカーや社会事業家)では、ここに共通の型がみられる。特にある事業の先駆者とされる人たちの共通のパターンがあった。

良きサマリア人類型の福祉事業家

- 石井十次 孤児、捨てられた子供たち
- 留岡幸助 犯罪者、非行少年たち
- 山室軍平 貧困者、売春婦
- 賀川豊彦 スラム街での抑圧された人たち
- ジェーン・アダムズ シカゴのスラム街の地域
- ジョージ・ミュラー 救貧法下の孤児
- ウイリアム・テューク 心病める友
- ドロシア・ディックス (Dix, Dorothea) 精神病院

無縁社会:現代社会の表層と深層

- 「絆、絆」というけれど…
深い闇の部分
- 縁が切れた状況
血縁、地縁、社縁
すべての関係が喪失している

死(闇)を通してみる実相

- 孤独死の実態
ミイラ化した死体
戸籍上“200歳の人が存在”!
- 行旅死亡人
- 自殺・自死問題

行旅死亡人

飢え、寒さ、病気、もしくは自殺や他殺と推定される原因で、本人の氏名または本籍地・住所などが判明せず、かつ遺体の引き取り手が存在しない死者を指すもので、行き倒れている人の身分を表す法律上の呼称

京都市告示第 261号

- 行旅病人及行旅死亡人取扱法第7条の規定に基づき、下記の者の遺体を火葬し、遺骨は京都市深草墓園に納骨しましたので、同法第9条の規定に基づき告示します。心当たりの方は、当区役所まで申し出てください。
- 平成23年10月7日
- 京都市右京区長 藤田 裕之

本籍・住所・氏名 不詳

年齢 推定60歳～80歳位 性別 男性

死亡の日時 平成23年5月1日 午前5時30分
死亡の状況 平成23年4月27日午後6時20分頃、京都市右京区西京極西池田町27番地1 エリーフラッツ西側敷地内で倒れているのを発見、同マンションの5～6階部分踊場から投身したものと推量される。その後京都九条病院に救急搬送されるも、多臓器不全により死亡。

特徴・着衣等 身長175cm、ほぼ白髪、銀縁メガネ、深緑色の帽子、灰色作業着、白色長袖カッターシャツ、ベージュ色ベスト、灰色スラックス

遺留物件等 現金390円、テレフォンカード1枚等

本籍・住所・氏名 不詳

年齢 推定30代前半～40代後半 性別 男性

- 死亡の日時 不詳(発見時死後経過1年以上と推定)
- 発見された状況 平成23年2月8日午後2時05分頃、京都市右京区御室大内65番地 仁和寺八十八カ所巡拝65番札所「三角寺」北側山中で発見された。
- 特徴 白骨化した頭蓋骨

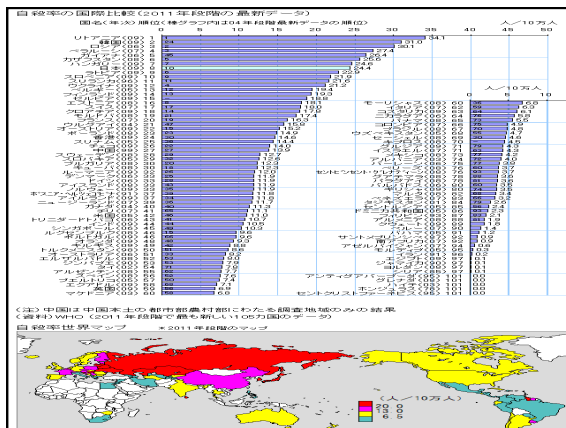
本籍・住所・氏名 不詳

年齢 推定30代前半～40代後半 性別 男性

- 死亡の日時 不詳(発見時死後経過1年以上と推定)
- 発見された状況 平成23年2月9日、京都市右京区御室大内65番地 仁和寺八十八カ所巡拝65番札所「三角寺」北側山中で発見された。死亡の状況 発見現場の直上に木に括り付けたロープが輪状に下がっていたことから、縊死(自殺)と思われる。
- 特徴・着衣等 白骨化した胴体部分、身長160cm位、ベージュ色ベスト、紺色長袖シャツ、紺色スウェット上下、焦げ茶色のズボン、黒色運動靴 遺留物件等 現金536円(ただし腐食が進み、金銭として使用できない状態)、めがね、懐中時計、手帳等その他 2と同一人物の可能性は高いが、2からDNAが検出されなかったため、同一人物とは取り扱っていない。

日本の自殺の現状

- 自殺者数3万人前後 未遂者は？
- 2013年統計 2万7195人 (警察)
交通事故者数(4863人)の6倍
- その数のイメージ 球場満員状態
- 1日 平均 約何人？
- 1時間で約何人？
- 自殺は社会の鏡



無縁社会への抵抗: ネット社会と現代の孤独

- ・ネット依存
- ・友達100人できるかな?
- ・トイレ弁当!

居場所

- ・フランクル 生きる意味 生きる力 待つ人の存在

待つ人、居場所が失われた現代社会
血縁、地縁、社縁・・・の衰退、崩壊

R.D.レインの言葉

- ・「すべての人間存在は、子供であれ大人であれ、意味、すなわち他人の世界のなかでの場所を必要としているように思われる。・・・少なくともひとりの他者の世界のなかで、場所を占めたいというのは普遍的な人間的欲求であるように思われる。」(レイン, 志貴春彦, 笠原嘉訳, 1961=1975:167)

ルカ10章25節から36節(新共同訳)

10:25 すると、ある律法の専門家が立ち上がり、イエスをためそうとして言った。「先生。何をしたら永遠のいのちを自分のものとして受けることができるでしょうか。」26 イエスは言われた。「律法には、何と書いてありますか。あなたはどのように読んでいますか。」27 すると彼は答えて言った。「『心を尽くし、思いを尽くし、力を尽くし、知性を尽くして、あなたの神である主を愛せよ。』また『あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。』とあります。」28 イエスは言われた。「そのとおりです。それを実行しなさい。そうすれば、いのちを得ます。」29 しかし彼は、自分の正しさを示そうとしてイエスに言った。「では、私の隣人とは、だれのことですか。」

続き

10:30 イエスは答えて言われた。「ある人が、エルサレムからエリコへ下る道で、強盗に襲われた。強盗どもは、その人の着物をはぎとり、なぐりつけ、半殺しにして逃げて行った。31 たまたま、祭司がひとり、その道を下って来たが、彼を見ると、反対側を通り過ぎて行った。10:32 同じようにレビ人も、その場所に来て彼を見ると、反対側を通り過ぎて行った。33 ところが、あるサマリヤ人が、旅の途中、そこに来合わせ、彼を見てかわいそうに思い、

続き

34 近寄って傷にオリーブ油とぶどう酒を注いで、ほうたいをし、自分の家畜に乗せて宿屋に連れて行き、介抱してやった。35 次の日、彼はデナリ二つを取り出し、宿屋の主人に渡して言った。『介抱してあげてください。もっと費用がかかったら、私が帰りに払います。』36 この三人の中でだれが、強盗に襲われた者の隣人になったと思いますか。』37 彼は言った。「その人にあわれみをかけてやった人です。」するとイエスは言われた。「あなたも行って同じようにしなさい。」

注釈

- 律法学者、パリサイ派
- 祭司、レビ人
- サマリア人
- あわれみ スプラクニズマイ compassion